

寒いさむ～～い日が続く二月となりました。キ～ンと冷たい空気が頬にあたると、思わず首をすくめてしまいます。そんな寒空の下でも今日も職員室に「ボール貸して下さい」とやってきました。戸外でのサッカーやドッジボール・縄とび、鉄棒は人気の遊びです。ボールを渡しながら、気がついた事がありました。一学期の頃は、ボールを借りにくるにもひとりです。1個を欲しがりましたが、今では何人かで取りにきて、「みんなと遊ぶ」という事が楽しいというのがわかっています。日常のさりげない生活の中で「あっ」と気がつきました。そして、遊び終わった後、「ありがとうございました」ときちんとお礼をいう子どもたちに成長を感じました。今度、幼稚園にきたらみて下さい。決して園庭にボールがポツンと置いてない事を…。年長の子もたちが、この様に手本をみせていると、年下の子もたちも見ているんですね、先生が口うるさく言わなくても、見て育っているんです。牛乳を運ぶ当番の時も、牛乳をもらうと、「ありがとうございました」ときちんと言います。ほんの見過ごしてしまう様な、日常の生活の流れですが、「お礼」をいうという行為が身につけてきているんですね。幼稚園の園生活は「人間としての他者とのつきあい方」を身につける土台（根っこ）の部分だと私は思います。鉄棒の様子からもみられます。できないお友だちが何回もやって、やっとできたらみんなで自分の事の様に喜ぶ……。「他者の喜びも、自分の事の様に喜ぶ」……。確実に「心」が芽生えてきています。将来、お父さんお母さんが老いた時、声をかけてくれたり、気にしてくれる人間に成長していくと信じています。この様に今、子ども達は毎日新しい事に挑戦（やってみようとする力）しています。私たち大人はその挑戦を上手にほめて、見守ってあげたいと思います。一段一段、階段を上る様に成長していく子どもたちに温かい応援をしていきましょう。「汗をかいて何回も縄とびをとんでいる姿をみると、いとおしく抱きしめてあげたい程、かわいいです。さて、2月は作品展があります。朝の挨拶が終わってそれぞれのクラスに行く子どもたちの後ろ姿に自信が満ちあふれています。自分が頑張った事が認められた時、又、ひとつの成長がみられます。お子さまから作品展の話などでたら、耳をかたむけてあげて下さい。只、いいかげんな返事をするとうらやまが失せてしまいます。他者とくらべず、お子さまの育ちにあわせた成長をほめてあげて下さい。ほめられ、認められた子どもは、自信・やる気に繋がります。キラキラ輝く表情で作品に取り組んでいる子どもたちを見ていると、私たち職員も頑張らなくてはと、励みになります。

## 作品展 どうぞご家族でお楽しみ下さい



園長 白井 三根子